



## 地域の力が繋がる、 障害者週間。

浜松市障害保健福祉課

12/3～12/9



出世大名  
家康くん

### イベント&展示情報

#### ◆障害者週間啓発イベント「スマイルフェスタはまつ」

一足早く、11月3日（文化の日）浜松市ギャラリーモール「ソラモ」で開催、団体によるステージ発表や授産製品などの販売をおこないました。



#### ◆「障害者週間啓発展示」障がいのある方の作品、授産製品等展示

区	開催時期	実施内容
本庁 中区	11月26日(水)～ 12月8日(月)	授産製品の展示、障がい者作品展 共同作品の展示
東区	12月9日(火)～ 12月11日(木)	障がい者の作品展
西区	11月26日(水)～ 12月4日(木)	授産製品、事業所紹介の展示 障がい者作品展
南区	12月3日(水)～ 12月9日(火)	授産製品の展示 小中学生の障害者週間ポスター掲示
北区	12月3日(水)～ 12月9日(火)	施設紹介、授産製品の展示

#### ◆「街頭キャンペーン」(浜北区、天竜区)

障害者授産施設で作られた授産製品

(家康くんマグネット)に啓発メッセージを入れて配布し、市民の皆さんに広がることを願っています。

- ・浜北区 12月9日(火) 11時～ プレ葉ウォーク浜北
- ・天竜区 12月5日(金) 10時～ 遠州中央農業協同組合天竜支店

※無くなり次第終了です。



▼ 障害者の日  
12月3日は、国際障害者デーであり、また障害者基本法の公布日であるため、3日を起点とし、障害者の日である12月9日までの1週間を平成7年6月27日、当時の総理府(現内閣府)障害者施策推進本部により定められました。

▼ なぜ12月3日から9日までなの?  
12月3日は、国際障害者デーであり、また障害者基本法の公布日であるため、3日を起点とし、障害者の日である12月9日までの1週間を平成7年6月27日、当時の総理府(現内閣府)障害者施策推進本部により定められました。

▼ 障害者週間とは?  
平成16年6月の障害者基本法の改正により、日本国民の間に広く障害の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他のあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定された週間です。

た。その後、平成5年11月に心身障害者対策基本法が障害者基本法に改められた際に、12月9日を「障害者の日」とすることが法律にも規定されました。

▼ 国、地方公共団体の取組  
昭和57年に「障害者に関する世界行動計画」が国連総会で採択された日であり、平成4年の第47回国連総会において12月3日を「国際障害者デー」とすることが宣言されました。

▼ 国際障害者デー  
昭和57年に「障害者に関する世界行動計画」が国連総会で採択された日であり、平成4年の第47回国連総会において12月3日を「国際障害者デー」とすることが宣言されました。

#### ◆「ほとんど知らなかったグッズと人に出会える本」

魅力あるモノ、特性を活かしたヒトや場所を通じて、地域住民や障害に馴染みの無い方に、障害者福祉を知ってもらう冊子が障害者週間に合わせて発行する予定です。(12月発行予定)

どんな冊子・・・

「障がい」や「理解」という言葉にとらわれるのでなく、ごく自然体で知ってもらえたから。と、今回作成する冊子は、カフェや美容院などで普段なげなく見るオシャレな雑誌を読む感覚で手に取ってもらえるものを目指しています。

読んでもらうことでオリジナル商品(ブランド)を発見したり、障がいを知ってもらったり、いろいろな発見をして、障がいのある方も社会の一員として生活しているという当たり前のことを気付いていただけたら、その気付きが大きな気付きになり、地域の力として繋がる、そんな冊子になればと期待しています。



## 地域連携

### 浜松市自殺対策地域連携

聖隸クリストファー大学・NPOE-JAN 大場義貴

### プロジェクト(絆プロジェクト)の成果について

世界保健機構(WHO)は、21世紀における保健上の最大の課題は精神保健であるとし、2001年のレポートでは、毎年世界中で2000万人が自殺を企図し、100万人が死亡していると報告し、精神保健なくして健康はないと結論づけています。

平成10年以降14年連続して3万人を超えた我が国の自殺者数は、ようやく平成24年に入り3万人を下回るようになりましたが、依然先進国の中では非常に高い水準にあります。平成22年に浜松市と聖隸クリス

E・JANは、官学民共同で「浜松市自殺対策地域連携プロジェクト(絆プロジェクト)」を立ち上げました。

絆プロジェクトの目的は、「経済問題を抱える自殺のハイリスク者に対しても関連が深い法律家と精神保健の専門家間の連携の仕組みを構築するとともに、自殺を防ぐための地域連携の検討を行い、浜松市の自殺者の減少を目指す」ことであります。その特徴は、生活支援モデルを中心にして、人生の困難な局面に対して相談すること、互いの相談スキルを高めていくことになります。

平成25年度は、(1)地

域連携プロジェクト推進に関する実施・運用、推進委員会の実施・運用、推進委員会

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検討会、情報交換会の実施、(4)連携の仕組みマニュアル「つ・む・ぐ」の作成などの取り組みを行い、その効果として、二職種から他職種連携(司法書士、弁護士、精神保健福祉士、社会福祉士、臨床心理士、精神科医、保健師、看護師、行政等)の仕組みへの発展、研修会や事例検討での学びを予防や未然防止への活用、計8名に対する自殺への直接的な介入(ケースワーカー)の実施等があげられます。

各地から絆プロジェクトに関する問い合わせや講演依頼も多数寄せられ、内閣府や総務省からも注目され

るようになってきています。平成24年に見直された「自殺総合対策大綱」では、「地域レベルの実践的な取組を中心とする自殺対策への転換を図る必要性や、自殺未遂者向けの対策、国、地方公共団体、関係団体、民間団体等の取組の連携・協力の必要性」が指摘されていますが、まさに絆プロ

ジェクトはその先駆けとなる実効性の高いプロジェクト

トと言えるでしょう。

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等)、(2)自殺対策

の開催等)、(3)研修会・事例検

討会、情報交換会の実施、

(4)連携の仕組みマニュ

アル「つ・む・ぐ」の作成

などの取り組みを行い、そ

の効果として、二職種から

他職種連携(司法書士、弁

護士、精神保健福祉士、社

会福祉士、臨床心理士、精

神科医、保健師、看護師、

行政等)の仕組みへの発展、

研修会や事例検討での学び

を予防や未然防止への活

用、計8名に対する自殺へ

の直接的な介入(ケース

ワーカー)の実施等があげら

れます。

各地から絆プロジェクト

の開催等

「誰もが安心して生活できる社会の実現」を願い、静岡県ボランティア協会は、1977年4月にボランティアの人たちの手により設立されました。今年で設立から37年目を迎えており、2002年にNPO法人化され今に至っています。

本協会が誕生するまでは、2つの大きな出来事がありました。一つは、重い障害のある子どもたちが安心して生活や訓練ができる、障害児のための通園施設をつくりたいという運動です。およそ9年にも及ぶこの市民による運動が実り、通園施設は完成しました。この運動に関わった人々たちは、次の段階として、「ボランティア協会・ボランティアビューロー構想」を掲げ、ボランティア活動

を進めています。来年2月8日、静岡文化芸術大学を会場に、第37回静岡県ボランティア研究集会が開催されます。11月下旬には、募集要項が、市町社会福祉協議会に配布されますので、たくさんの方々にご参加いただきたいと思っています。

TEL. 054-255-7357  
県ボランティア協会まで。

## Column

### 『違い』を認める教育を

子どもの発達科学研究所 和久田学

いじめ、不登校、非行、校内での暴力など、学校現場は問題山積です。文部科学省の「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」によると、学校内外における暴力行為の発生件数は、小中高あわせて59,345件で、10年前に比べて倍増です。特に小学校は深刻で、10年前は1,777件だったのが、今では10,896件、しかも年々増加しています。いじめ、不登校も同様で、減少する気配はありません。

しかも子ども時代の行動は成人後に反映されることが、これまでの研究でわかっています。つまり精神疾患や生活保護の増加、ニートや引きこもりは、子どもの問題の先送りの結果です。パワハラや犯罪は、子どものいじめの発展形です。だからこそ、根本的な部分で教育を見直す必要があると思います。



例えば、我が国の教育は、伝統的に「教室にいる子どもは等質である」とことを前提に進めています。その良さもあるのですが、一方で発達障害をはじめ、「違い」がある子どもたちが、いつの間にか傷つけられてしまう状況を作っているかもしれません。子どもの問題が顕在化している今こそ、全ての大人が、子どもたち一人一人の違いを認め、発達の観点から子どもへの支援を見直す必要があると考えています。

## ご存知ですか？ ボランティア協会



## 推進活動

を推進していく拠点作りに動きだします。ボランティアによるボランティアのための協会づくりです。そして1977年に協会は設立され、その後、静岡県からの支援も得ることができます。現在の基礎が築かれました。

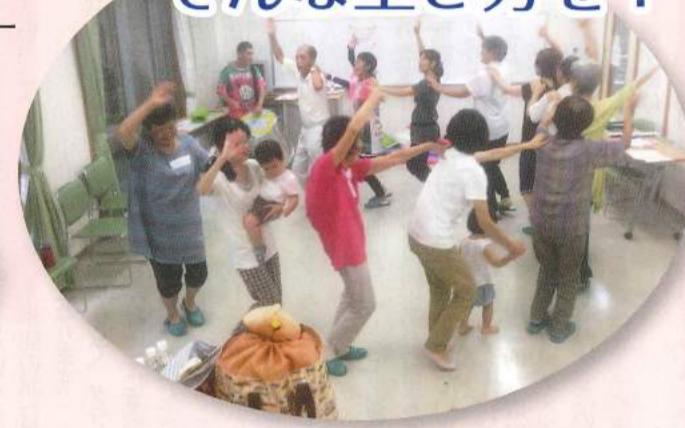
協会ができた時からはじめられている取組みに「静岡県ボランティア研究集会」があります。この研究集会は、地域で活動するボランティアが情報交換やネットワーキングの機会として集う集会で、今年で37回目を数えます。現在、35名の実行委員さんが、月に1～2回のペースで実行委員会を重ね、集会準備をし

### 『笑うから楽しい』、 そんな生き方を！

ラフターヨガリーダー

稻津達義

## 趣味



生まれて46年と3ヶ月で、まさかのがん告知で、入院ということになりました。半年間の闘病生活となりました。そこでは、たくさんの方を読んで勇気づけられた本とさんのお話を読みました。そして、勇気づけられた本と一緒に出会いました。

蒲田 實著

ここに書いてあること。いい笑顔ですね。笑うと不思議なことが起きますよ。人間の体というのは、まだわかつていません。多く、医学の常識をいい意味で裏切ってくれるんです。笑っている人にはしばしば奇跡が起きます」「笑いは、幸せホルモンといわれるセロトニンを分泌される」「つくり笑いでもいい

で、まさかのがん告知で、本退院して、ご縁でラフターヨガ（笑いヨガ）と出会い、リーダーの資格を取りました。多くの方とやらせてもらうとともに嬉しい気持ちになります。笑う門には福来る。楽しいから笑うではなく、笑うから楽しい、そんな生き方をしていきたいと思います。

から笑え



## 市民向け浜松市版保健福祉新聞「らしく浜松」

### 広告募集のご案内

#### ①この地域新聞の趣旨、目的

この「地域保健福祉活動の媒体となる市民向け浜松市版保健福祉新聞」は、聖隸クリストファー大学の実施する保健福祉実践開発研究センターによる、地域の保健医療分野に貢献する研究事業から生まれた新聞です。

障害福祉や精神医療は、近年めまぐるしく状況が変化してきています。これまでには、病院や施設等が中心だった支援から、住み慣れた場所で生活するための支援に重点が置かれるようになっています。そのためには、障害福祉や精神疾患、精神保健についての正しい知識や、関心の高まり、疾患や障害等の予防、早期支援による二次的障害を予防することが必要です。のために、地域保健福祉新聞を作成し配布・設置することで、多くの人々に情報を届けたいと思っています。

○代表者 大場義貴 聖隸クリストファー大学 社会福祉学部 准教授  
○事務局 加藤寛盛 NPO 法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会  
○協力者 佐々木正和 聖隸クリストファー大学 社会福祉学部 助教  
○ 小幡峯司 株式会社メディアス（広告企画会社）  
○ 高橋久美子 浜松手をつなぐ育成会  
○ 山本隆弘 聖隸クリストファー大学 社会福祉学部 学生

らしく浜松

#### ②タイトルの由来

「らしく」では、その人らしい生き方、無理のない自然体の生き方の実現と、ここに豊かに安心して暮らしていくことができるような社会づくりの実現を目指していきます。

#### ③配布方法

企業、金融機関、教育機関、市の関連機関、その他公的機関、福祉施設などを通じて個人へ配布または郵送。

○発行部数 20,000部 季刊発行

90×240mm 84,000円（このご案内の枠）

90×118mm 47,250円（このご案内の1/2）

43×118mm 26,250円（このご案内の1/4）

（上記は広告掲載料金です。広告データ作成の場合は別途。）

●広告のお問い合わせ・お申込みは下記へどうぞ。  
(株) メディアス 電話 053-478-3390 FAX 053-478-3391  
E-mail: mds@w.email.ne.jp

# 職業観、使命観を強く持って、人々の健康と福祉に貢献し続けて欲しい。



ひと

このたび、私どもが発行してまいりました「らしく浜松」が一区切りとなる、第5号の発行をすることができました。そこで、今回は、聖隸クリストファー大学学長の小島操子先生から、現在の聖隸クリストファー大学の取り組みについてお伺いしました。



聖隸クリストファー大学  
学長 小島操子 先生

●先生の専門領域について教えてください

私はがん看護学と看護倫理を専門としております。私が看護師になつた頃は、がんによる死亡数がどんどん上昇していた時代でしたので、勉強のためにニューヨーク大学に留学しました。そこでは徹底した先端医療が行われおり、徹底した治療と延命が最優先でした。その中の看護師の役割は、患者さんのそばに付き添つて、やさしく見守るということでした。日本でも、同様なことは行われていましたので、特に私が期待するような新しい看護方法は見当たりませんでした。ところが、もう一度10年後にミネソタ大学に留学をした際には、がん医療・看護はすごく変化をしていて、QOL (Quality Of Life) という考え方やインフォームドコンセント、自己決定、患者さんの尊厳死などが行われるようになっていました。

このたび、私どもが発行してまいりました「らしく浜松」が一区切りとなる、第5号の発行をすることができました。そこで、今回は、聖隸クリストファー大学学長の小島操子先生から、現在の聖隸クリストファー大学の取り組みについてお伺いしました。

【プロフィール】  
1994年4月 聖路加看護大学 看護学部長  
1998年4月 大阪府立看護大学 学長  
2005年4月 大阪府立大学名誉教授  
2007年4月 聖隸クリストファー大学 学長(現在に至る)  
2010年1月 聖路加看護大学名誉教授  
専門分野  
著書  
主な活動  
がん看護、看護倫理  
「がん看護アカリキュラム」、「危機状況にある患者・家族の危機の分析と看護介入—事例集—」、  
「看護における危機理論・危機介入(改訂3版)」、他論文等多数掲載  
日本がん看護学会 監事、日本看護倫理学会 理事、日本看護科学学会 監事、日本臨床死生学会 理事、  
日本生命倫理学会 評議員、小林がん学術振興会 理事、日本医療経営機構 理事 など

●現在のがん看護では、どのような取り組みが行われていますか?

がんは昭和56年に死因の第一位になり、現在でも総死亡の三分の一ぐらいが、がんで亡くなっています。そうしたなか、平成8年から日本でもがん看護の専門看護師が誕生しています。また、平成18年には「がん対策基本法」が成立しました。その時に策定されたがん対策推進基本計画では、がんによる死亡を減少させることで、がんになっている人や家族の苦痛の軽減と生活の質の向上を高めることが目標とされました。

がん治療の進歩で、最近では、がんを持ちながら生活している人たちの取り組みが注目され、平成24年のがん対策推進基本計画の中間見通しでは、がんになつても安心して働き、暮らすことのできる社会の構築や小児がんに関する対策にも力を入れることが目標となりました。

このように病気と共生しながら生き生きと生活することのできるような地域づくりを福祉とも協働しながら行なうようになってきています。

本学の改革の一つは、教育の質保証システムとしてPDCAサイクルの導入です。Plan(計画)→Do(実施)→Check(評価)→Action(改善)という4つのサイクルを回しながら、本学での専門職の人材養成の質を改善していくことを行つており、1年間の試行後導入して2年目になります。

改革の二つ目として、グランドデザイン(10年計画)に基づき、毎年の事業計画を立案しています。現在は5年目の見直しを経て、第二ステージに入っているところです。その事業計画の推進に、その他にも、学生による教育の評価や教員同士の評価また教育情報の公表なども行っています。授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組みを行なっています。

●最後に、聖隸クリストファー大学の地域貢献への取り組みについてお伺いします

私たちの大学では、看護・リハビリテーション・社会福祉の三学科から構成されています。大

科、言語聴覚学科、社会福祉学部は、社会福祉学科、介護福祉学科、こども教育福祉学科の七

学科から構成されています。大

学院は、博士前期課程と後期課程から成り、看護学研究科、社会福祉学研究科で構成されています。

科、言語聴覚学科、社会福祉学部は、社会福祉学科、介護福祉学科、こども教育福祉学科から構成されています。大

学院は、博士前期課程と後期課程から成り、看護学研究科、社会

福祉学研究科で構成されています。

科、言語聴覚学科、社会福祉学部は、社会福祉学科、介護福祉学科、こども教育福祉学科から構成されています。大

学院は、博士前期課程と後期課程から成り、看護学研究科、社会

福祉学研究科で構成されています。